土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

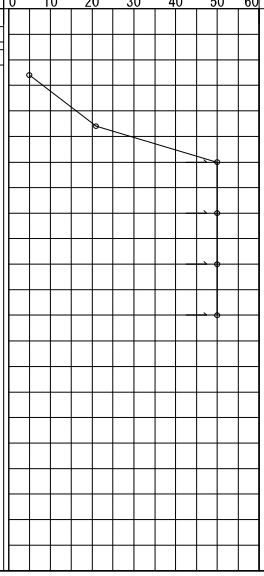
調査名	砂防指定地内河川　恵木谷川　通常砂防事業に伴う測量・地質調査・設計業務委託（交付金）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　砂防

ボーリング名	Bor.No.4	調査位置	広島県三次市畠敷町	北緯	34° 48' 52.6128"
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	令和3年10月18日～ 令和3年10月21日	東経	132° 53' 19.8397"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 230.91m	角度	180 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
総削孔長	6.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO / エンジン：ヤンマーNFD90-型 / ポンプ：東邦BG-3C

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1				礫混じり砂混じりシルト		褐～暗褐		rc2	シルト主体で粗砂が混在する。含水量は少ない。φ2～5mmの小礫が混在し、GL-0.80m付近にφ50mmの礫が有り。GL-0.90～1.50m間は有機物が多く黒色を呈する。	0.35
2	229.01	1.90		強風化流紋岩		青灰		rd3	砂礫状コアで採取。含水量は少ない	
3	228.46	2.45		流紋岩		褐灰～褐			砂礫状～岩片状～短柱状コアとして採取。破砕作用によって、コアは砂礫状に崩れやすい。岩片自体は硬質であり、岩組織も明瞭に残す。短柱状コアでは最大コア長は10cm程度で節理もみられ、割れ目は褐色化を呈する。GL-3.15～3.40mおよびGL-4.00～4.80m間は局所的にコアが悪く、砂礫状～砂状を呈する。岩級区分はCL～DH級に相当する。	
4										
5										
6	224.91	6.00								
7										
8										
9										
10										
11										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
	1.15	1	2	2	5/300		
5	1.45						
	2.15	5	5	11	21/300		
21	2.45						
50以上	3.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	4.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	5.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	6.00	貫入不能			50/0	0	

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				10/18
				10/19
				10/20
				10/21